



GQ GMC-800 放射線測定器

詳細マニュアル



GQ Electronics LLC

Revision 1.01

Oct-2023

文書の改訂履歴:

Re.1.00 ,Oct-2023 GQ Electronics LLC. Initial release for firmware 1.00

Re.1.01 ,Oct-2023 GQ Electronics LLC. Menu section content update.

目次

概要.....	4
仕様.....	5
同梱品.....	5
動作方法.....	6
注意事項.....	6
安全レベル.....	6
本体セットアップ.....	7
ソフトウェアセットアップ(オプション).....	7
WindowsでのUSBドライバーのインストール確認(オプション).....	9
マルチファンクションキー.....	10
Key1.....	10
Key2.....	10
Key3.....	10
Key4.....	11
省電力モード.....	11
ポップアップウィンドウ.....	11
グラフィックユーザーインターフェース(GUI).....	12
各アイコンの説明.....	12
クリック音.....	19
アラーム.....	19
ビープ音の音量(アラーム).....	20
バイブレーション.....	22
画面設定(メインメニュー).....	22
ダークモードカラー.....	25
バックライト.....	26
省電力モード.....	26

データ保存.....	27
データ消去.....	27
時計の設定.....	28
工場出荷時設定にリセット.....	28
キャリブレーション.....	29
管電圧.....	30
About.....	30
GQ GMCデータビューアーソフトウェア.....	31
GQターミナル.....	32
オンライン放射線測定器ワールドマップ.....	34
ソフトウェア.....	34
自動送信データプロトコル.....	35
アプリケーション.....	36
固定アプリケーション.....	36
その他の重要な技術的詳細.....	36
USBポート.....	36
データ収集時間.....	36
バッテリーの動作時間を延長する.....	36
サードパーティーのソフトウェア開発者.....	36

概要

GMC-800 放射線測定器は、米国NRC(原子力規制委員会)に準拠して設計された、ポータブルで便利なデバイスです。本製品は、産業プラント、公共施設、病院、大学、研究所などの産業、商業、研究、評価、シミュレーション、およびその他の解析や科学的分野で応用できます。本製品には、検出された放射線レベルを音声と画面表示で知らせる機能が内蔵されています。屋内・屋外のどちらでも放射線の検出と監視が可能です。自動データ記録機能が搭載されており、放射線レベルを常時モニタリングし、毎秒データを内部メモリに記録することができます。記録されたデータは、無料のソフトウェアを使用してコンピューターに保存し、確認と分析が可能です。本製品には高品質のカラー液晶画面も搭載されており、液晶画面を最大限活かした、視覚的にわかりやすく使いやすい設計となっています。本体正面にはLEDインジケーターがあります。

本製品には、Type-C USBポートが付いており、内蔵の充電式リチウムイオン3.6V/3.7Vバッテリーの外部電源供給/充電、およびコンピューターとのデータ通信が可能です。本製品の充電式バッテリーは、標準のアダプターを使用して壁のコンセントなどから充電できます。また、充電しながら使用することで、バッテリーの残量を気にすることなく、継続的に正確なデータの測定とモニタリングが可能です。

現在時間がわかる時計も内蔵されており、データの取得時間を記録できます。

USBポートからは、GMC-800 放射線測定器のデータビューアーソフトウェアと通信ができます。

GMC-800 放射線測定器のデータビューアーソフトウェアでは、放射線(履歴)データをデータ取得時間とともにコンピューターにダウンロードして保存し、後から確認や分析を行うことができます。

仕様

線量率表示範囲、 $\mu\text{Sv/h}$:0.00~2000

露光線量率表示範囲、 mRem/h :0.00~200

β 放射線エネルギー範囲、 MeV :0.25~3.5

γ 放射線エネルギー範囲、 MeV :0.1~1.25

X線放射線エネルギー範囲、 MeV :0.03~3.0

表示の再現性:20%

ガンマ感度 Co60 (cps、 mR/hr):22

CPMによるアラームレベル:0~999999(連続)

$\mu\text{Sv/h}$ によるアラームレベル:0.00~9999(連続)

mRm/h によるアラームレベル:0.00~999(連続)

日付表示:YYYY-MM-DD(連続)

時刻表示:HH-MM-SS(連続)

経過時間表示:99年(最大)

放射線検出: β 、 γ 、 x

検出可能な放射線範囲:0.1~3 MeV

装置のバックグラウンド:0-2パルス/s

動作電圧:3.6-3.7V

ディスプレイ:カラーLCDドットマトリックス、バックライト付き

搭載メモリ:データストレージ用の2Mバイトフラッシュメモリ

電力:消費25mW-125mW(カウントレートに依存)

電力:供給3.7Vリチウムイオンバッテリー/USB

本製品は、GQエレクトロニクスの厳格な品質保証基準に基づきキャリブレーションされており、米国原子力規制委員会(NRC)規制10-CFR-34、10-CFR-35、ANSI/NCSL Z540.3-2006(R2013)、ISO/IEC 17025:2017(E)、MIL-I-45208Aでキャリブレーションすることができます。また、米国国立標準技術研究所でも追跡可能です。

同梱品

GMC-800本体

専用ケース

USBケーブル(typeC)

日本語マニュアル

動作方法

GMC-800 放射線測定器には、放射線を検出するためのガイガーチューブが付いています。放射線がガイガーチューブを通過すると、カウントを記録するためのCPUが作動します。基本的なカウントレートの単位はCPM(毎分のカウント)です。CPMのカウントレートは放射線レベルを示し、他の一般的な放射線単位(uSv/hやmR/hなど)に変換することができます。

本体の電源をオンにすると、自然放射線の読み取りが表示されます。自然放射線の読み取り(毎分のカウント)は、その分に検出された自然放射線を示します。この読み取りは、時間と場所によって変化する可能性があります。正確な読み取りのためには、時間をかけて平均値を取る必要がある場合があります。

注意事項

1. バッテリーが少ない場合は測定を避けてください。
2. 放射線測定器を濡らさないでください。水気を防ぐために密閉できるビニール袋を使用してください。
3. 直射日光の下での測定を避けてください。
4. 放射性物質と直接接触させないでください。必要に応じて密閉できるビニール袋を使用してください。
5. 使用しない時は本体の電源を切ってください。
6. 使用後は保護ポーチに保管してください。

安全レベル

表示される読み取りレベル:

1. Safe level(安全レベル): 50CPM未満または0.25uSv/h未満。問題ないレベルです。

2. Attention level(注意レベル): 51CPM - 99CPM(0.26uSv/h - 0.39uSv/h)。異常があるレベルで、原因について対処が必要です。

3. Warning level(警告レベル): 100CPM以上(0.40uSv/h以上)。この領域に長時間滞在するのは危険なレベルです。

本体セットアップ

本体の正面には4つのボタンがあります(左から順にKey1、Key2、Key3、Key4とします)。

1. 本体の電源を入れます。

Key4(電源)を3秒間押すと、電源がオンになります。

バッテリーレベルを確認してください。初めての使用時にはバッテリーを最大まで充電してください。バッテリーを最大まで充電するには数時間かかる場合があります。充電が完了すると、バッテリーアイコンが点滅から点灯に変わります。

2. 日付/時刻を設定します。

Key4キーを押してメニューに入り、日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻は、データ記録の際のデータ取得時間として使用されるため、スキップせずに必ず正確に設定してください。大部分のデータは、日付と時刻が記録されます。

3. 省電力モードを設定します。

消費電力を最小限に抑えるために、バックライトが消灯するタイミングを秒単位で設定できます。省電力モードをオンにすると、30秒間キーを押さなかった場合に自動で液晶画面が暗くなります。

以上でセットアップは完了です。放射性物質がない状態で、自然放射線の読み取り(毎分のカウント)が表示されます。

ソフトウェアセットアップ(オプション)

GMC-800 放射線測定器をコンピューターに接続する前に、アプリケーションソフトウェアをダウンロードし、USBドライバーをインストールしてください。ソフトウェアとUSBドライバーのダウンロードは下記URLから行ってください。

<https://www.ggelectronicllc.com/comersus/store/download.asp>

Windows 10/11では、USBドライバーのインストールは必要ありません。それ以前のバージョンのWindowsでは、アプリケーションソフトウェアと通信するためにUSBドライバーが必要になる場合があります。GQGMCGeigerCounterUSBDriverV4.exeを実行すると、USBドライバーがインストールされます。GMCDataViewer.exeは、コンピューター上でデータを表示するためのものです。

技術的な質問やサポートについては、下記URLのフォーラムをご利用ください。

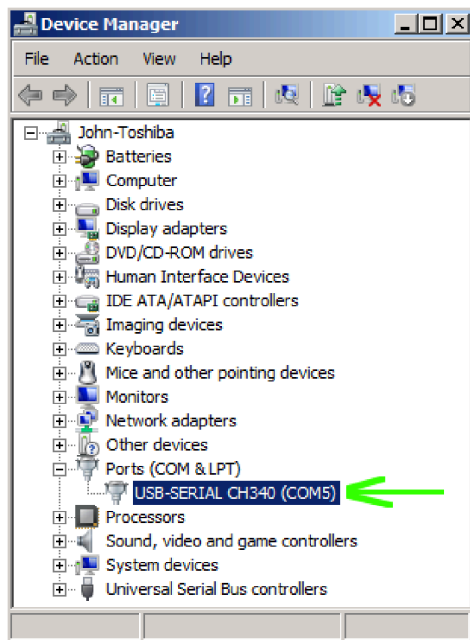
<http://www.GQElectronicsLLC.com/forum>

最新のソフトウェアについては、下記URLのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

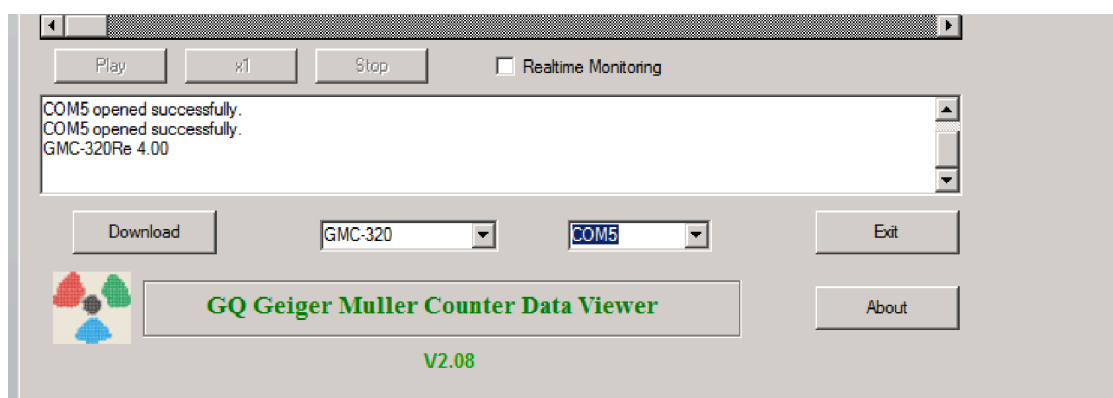
<http://www.gqelectronicsllc.com/comersus/store/download.asp>

WindowsでのUSBドライバーのインストール確認(オプション)

GMC-800放射線測定器がコンピューターに接続されたら、デバイスマネージャーからGMC-800に割り当てられたCOMポートを確認できます。下記の例では、COM5が割り当てられています。



上記の例の場合、COM5を選択するとGMC-800放射線測定器への接続が確立されます。



マルチファンクションキー

マルチファンクションキー、Key1、Key2、Key3、Key4の説明:



Key1 Key2 Key3 Key4

これらのキーは、その時に表示されている画面の内容に応じて、自動的に機能が割り当てられます。

Key1

- Key1を押すと、5つの表示モード(Dose Rate、Graphic、Dosimeter、History、Menu)を切り替えることができます。
- Menuモードでは、Key1を押すと現在のメニューが終了し、1つ前のメニューに戻ります。
- Dose Rateモードでは、Key1を2秒間押すと、現在の値が音声で読み上げられます。
- データ入力の際は、Key1を押すと1文字削除できます。

Key2

- Dose Rateモード、Graphicモード、Historyモードでは、Key2を押すと読み取り単位を変更できます。
- Menuモードでは、Key2はメニューの項目を選択する際、上に移動するUPキーとして機能します。

Key3

- Menuモードでは、Key3はメニューの項目を選択する際、下に移動するDOWNキーとして機能します。
- Historyモードでは、Key3を押すと読み取り単位を変更できます。

- Key3はMenuモードへのショートカットキーです。Key3を2秒間押すと、表示モードがMenuモードに変更されます。

Key4

- 電源がオフの状態では、Key4が電源スイッチとして機能します。Key4を3秒間押すと起動します。
- Graphicモードでは、Key4を押すと合計、最大、平均の値を切り替えることができます。
- 電源がオンの状態では、Key4を3秒間押すと電源がオフになります。
- Menuモードでは、Key4が「決定」キーとして機能します。

省電力モード

デフォルトの設定では、省電力モードはONになっています。省電力モードでは、30秒間キーを押さなかった場合に自動で液晶画面のバックライトが暗くなります。任意のキーを押すと、通常のバックライトに戻ります。

ポップアップウィンドウ

ポップアップウィンドウには、選択した機能の現在の設定状況/値が表示されます。Key2、Key3で項目を選択し、Key4で決定できます。3秒間キーを押さなかった場合は、自動で現在表示されている設定状況/値が保存され、ポップアップウィンドウが閉じます。



グラフィックユーザーインターフェース(GUI)

各アイコンの説明



バッテリーステータス

90%

バッテリーレベル



データ保存が有効(履歴データ)



アラームがオン



スピーカーがオン



バイブレーションがオン



USBが接続中



アイコンのインジケータ



選択中のモードはハイライトで表示されます。



選択中の読み取り単位が表示されます。



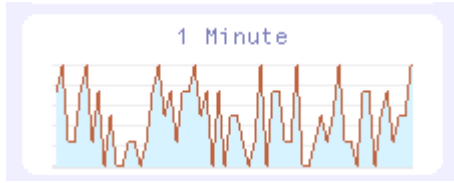
安全アラームのインジケータ

緑色は安全、赤に近づくほど危険を表します。

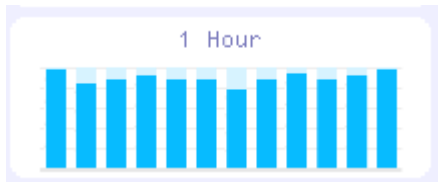
10/03/2023

08:48:18

現在の日付と時間



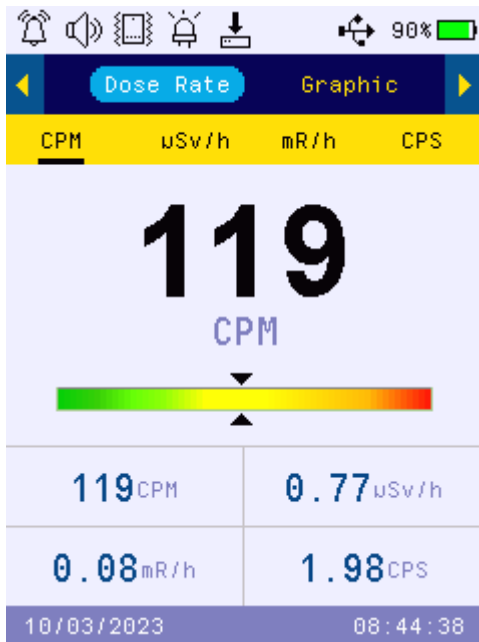
過去60秒間のグラフ



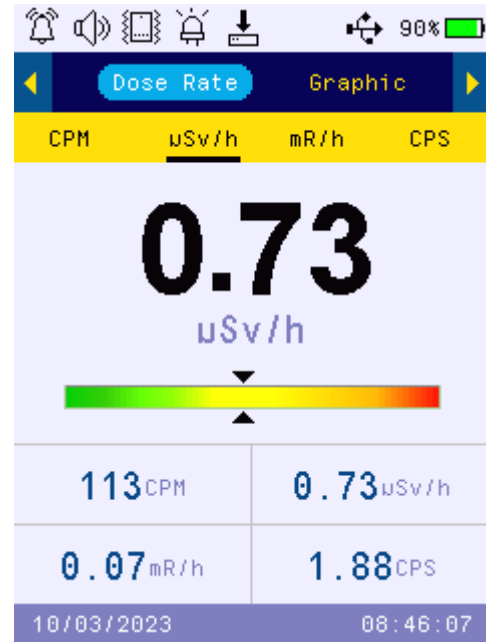
過去60分間のグラフ

5つの表示モード、Dose Rateモード、Graphicモード、Dosimeterモード、Historyモード、Menuモードがあります。

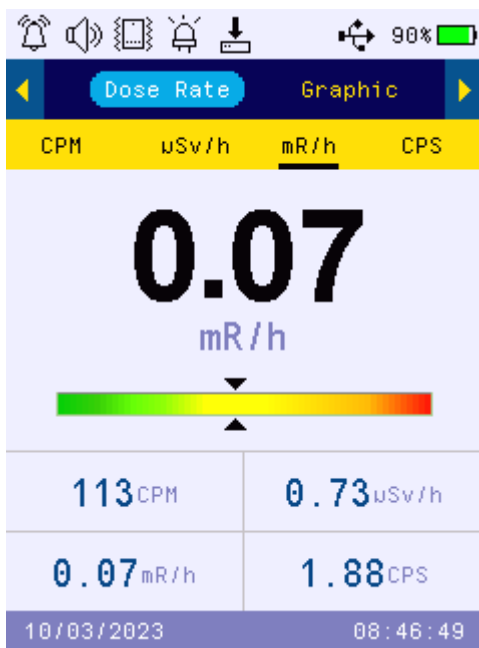
Dose Rateモード



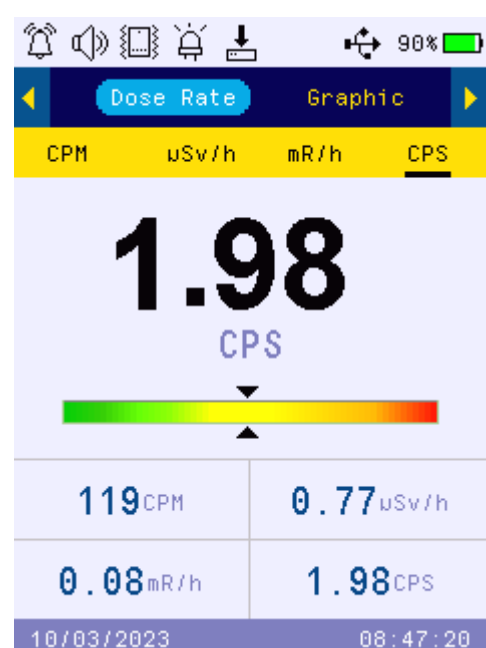
CPM(毎分のカウント)での放射線量



マイクロシーベルト／時間($\mu\text{Sv/h}$)での放射線量



ミリレム／時間(mR/h)での放射線量



1分あたりの平均CPS(毎秒のカウント)での放射線量

Key2およびKey3で、CPM、 $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h 、CPSの単位を切り替えます。

ナビゲーションキー

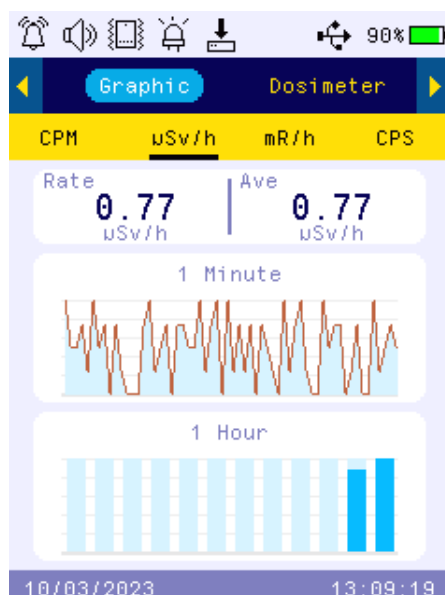
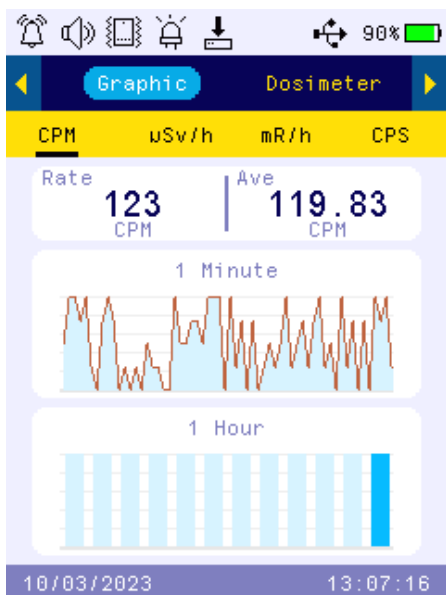
Key1: Dose Rate、Graphic、Dosimeter、Historyモードの選択

Key2: CPM、 $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h 、CPSの選択

Key3: CPM、 $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h 、CPSの選択・2秒間押してメニューモードに切り替え

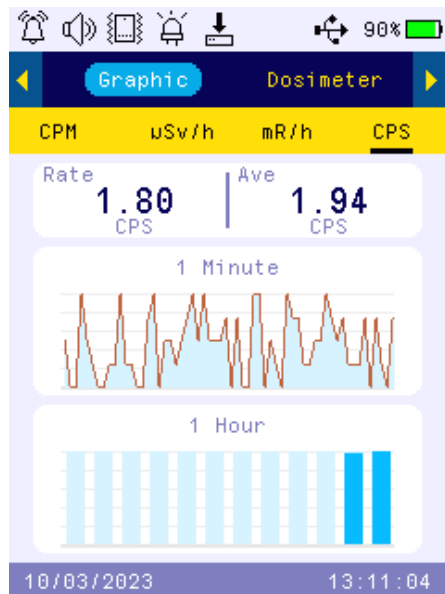
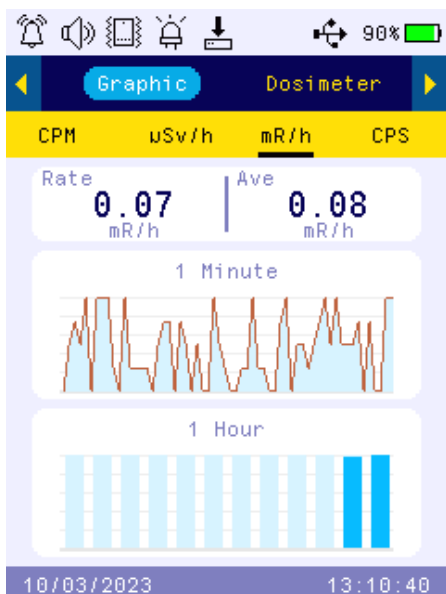
Key4: 3秒間押して電源オフ

Graphicモード



CPM(毎分のカウント)での放射線量

マイクロシーベルト/時間($\mu\text{Sv/h}$)での放射線量



ミリレム/時間(mR/h)での放射線量

1分あたりの平均CPS(毎秒のカウント)での放射線量

Key2およびKey3で、CPM、 $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h 、CPSの単位を切り替えます。

ナビゲーションキー

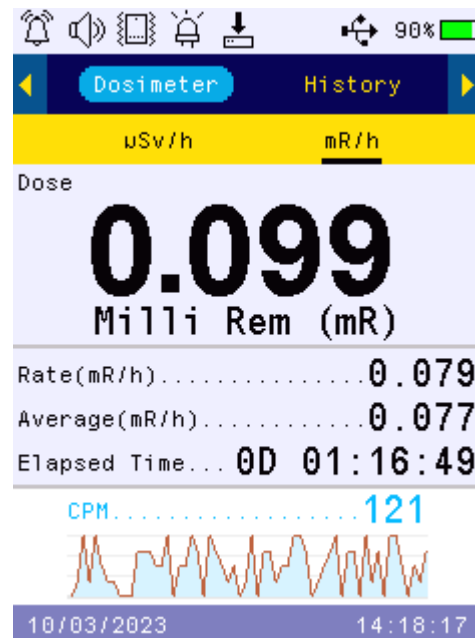
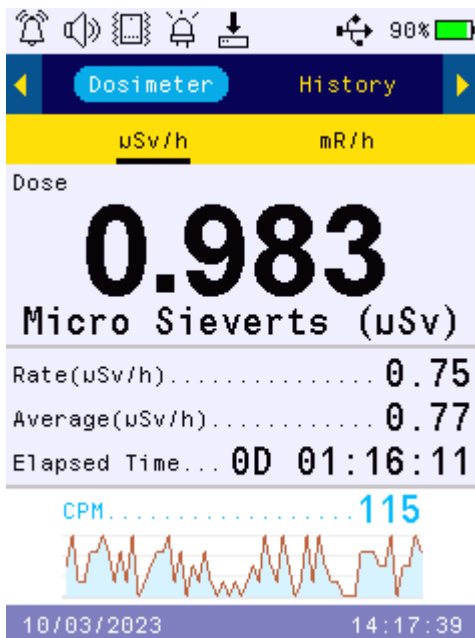
Key1: Dose Rate、Graphic、Dosimeter、Historyモードの選択

Key2: CPM、 $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h 、CPSの選択

Key3: CPM、 $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h 、CPMの選択・2秒間押してメニューモードに切り替え

Key4: 合計、最大、平均の値を切り替え・3秒間押して電源オフ

Dosimeterモード



マイクロシーベルト／時間($\mu\text{Sv/h}$)での放射線量 ミリレム／時間(mR/h)での放射線量



CPM(毎分のカウント)での現在のレベル

ナビゲーションキー

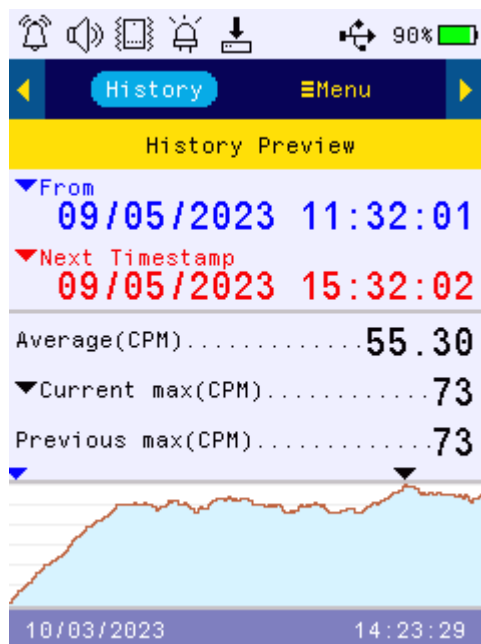
Key1: Dose Rate、Graphic、Dosimeter、Historyモードの選択

Key2: $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h の選択

Key3: $\mu\text{Sv/h}$ 、 mR/h の選択・2秒間押してメニューモードに切り替え

Key4: 3秒間押して電源オフ

Historyモード



Historyモードでは、内部フラッシュメモリに保存されている過去のデータを表示できます。
最初のデータ取得時間から、その後4分間のデータが表示されます。

ナビゲーションキー

Key1: Dose Rate、Graphic、Dosimeter、Historyモードの選択

Key2: 次の取得時間の選択・次の4分間のデータの選択

Key3: 前の取得時間の選択・前の4分間のデータの選択・2秒間押してメニューモードに切り替え

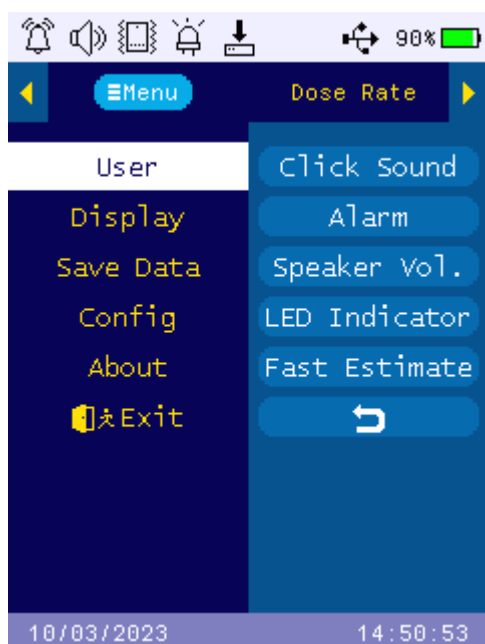
Key4: 3秒間押して電源オフ

Menuモード

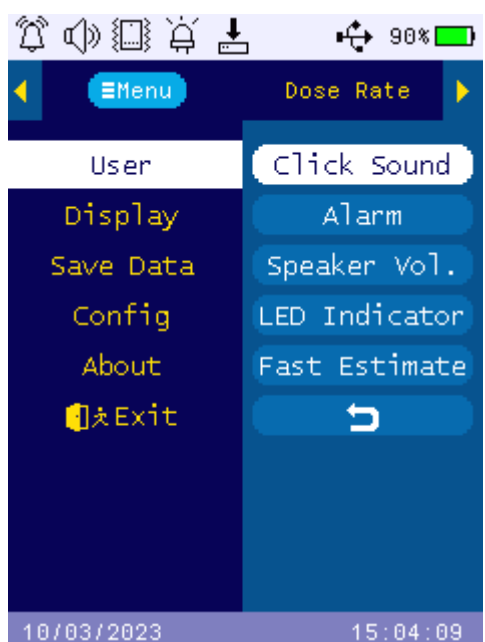
メニュー画面には、選択できる機能の項目が表示されます。

左側のリストはメインメニューリスト、右側のリストはメインメニューで選択している項目のサブメニューリストです。

Key4を押すと、メインメニューの項目の選択を決定できます。決定するとカーソルがサブメニューリストに移動し、サブメニューの項目を選択できるようになります。



Key4を押す



カーソルがサブメニューリストに移動

ナビゲーションキー

Key1:戻る Key2:上へ Key3:下へ Key4:決定

クリック音

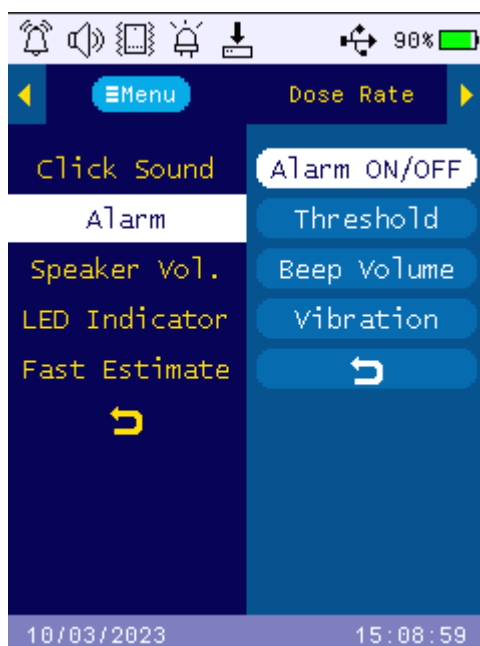


ナビゲーションキー

Key1:戻る Key2:上へ Key3:下へ Key4:決定

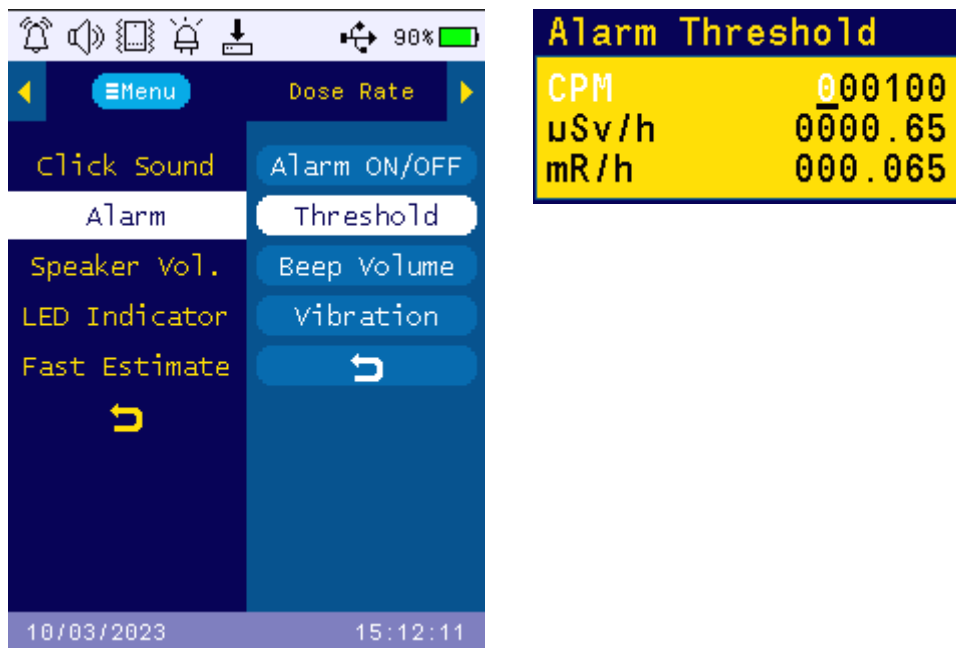
アラーム

アラーム音声のオン/オフが設定できます。



アラームしきい値

放射線レベルが、設定したCPMのアラームしきい値に達すると、アラームが作動します。



ナビゲーションキー

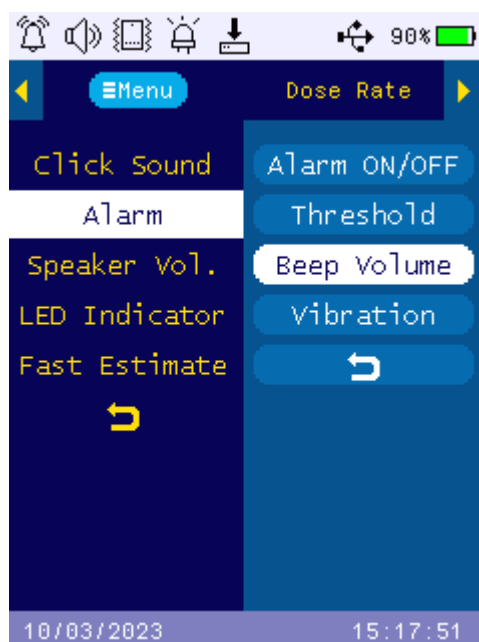
Key1:戻る

Key2:カーソル位置の値を変更

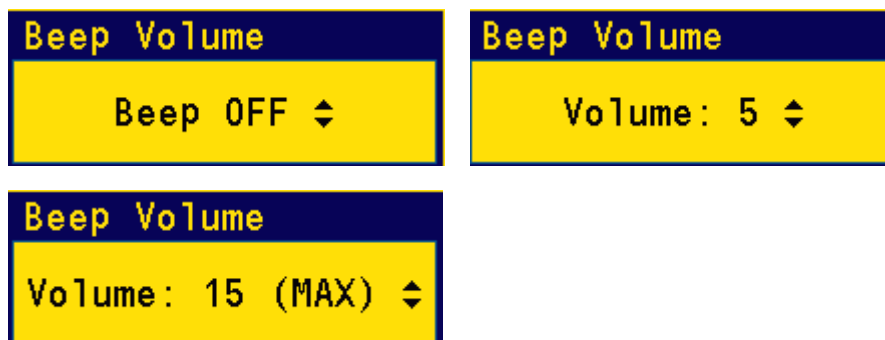
Key3:カーソル位置の値を変更

Key4:決定して次の桁にカーソルを移動

ビープ音の音量(アラーム)



Key4を押すと、ビープ音の音量設定画面に切り替わります。



6秒後に自動で最終的な音量が保存され、ポップアップウィンドウが閉じます。

ナビゲーションキー

Key1:戻る Key2:上へ Key3:下へ

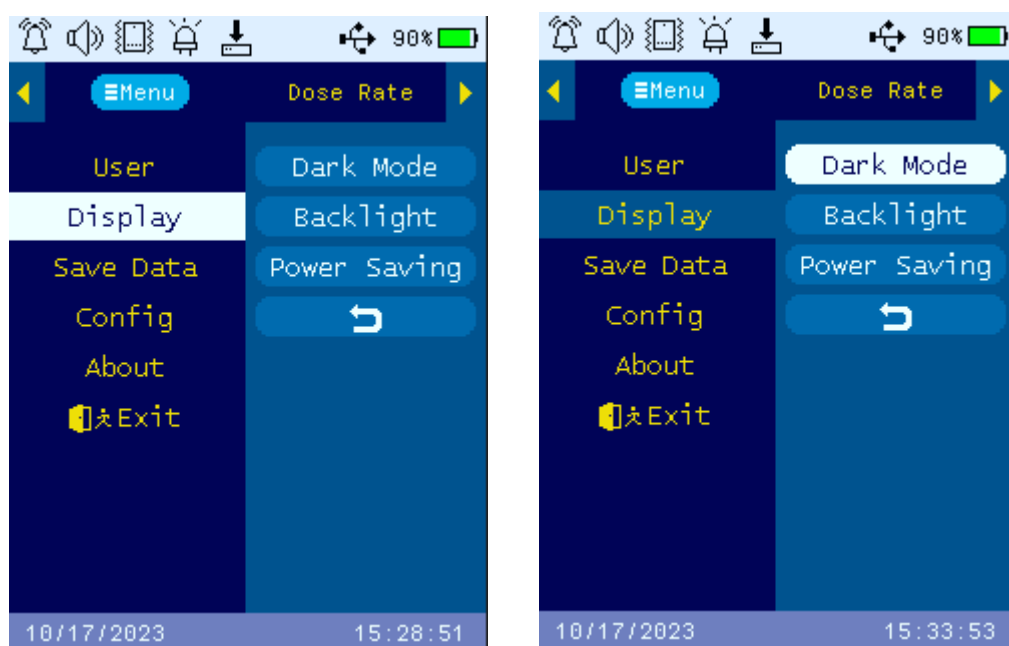
バイブレーション



ナビゲーションキー

Key1: 戻る Key2: オン/オフを選択 Key3: オン/オフを選択

画面設定(メインメニュー)



Key4を押すと、サブメニューリストにカーソルが移動します。

さらにKey4を押すと、ダークモードのオン/オフ設定画面に切り替わります。

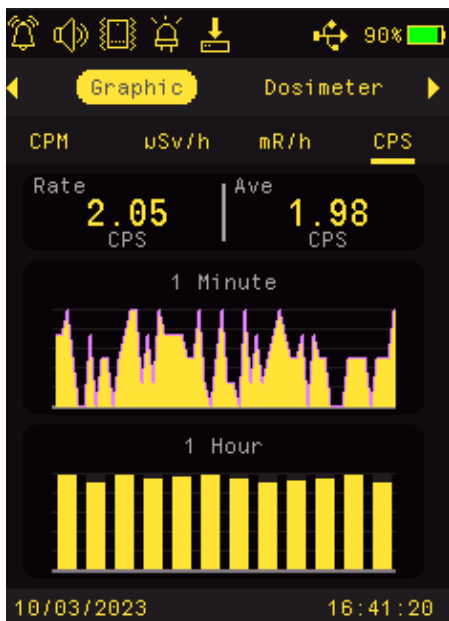
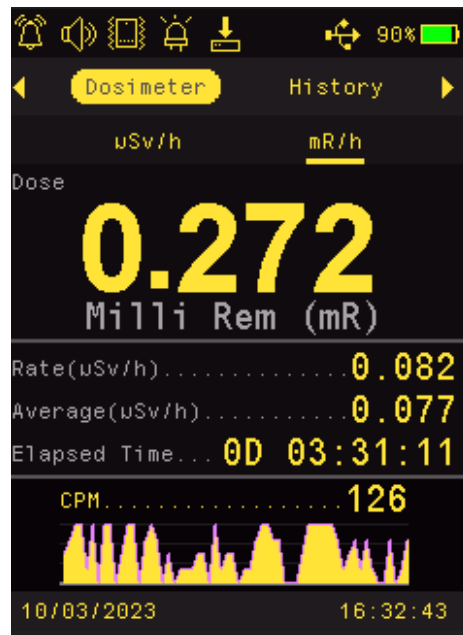
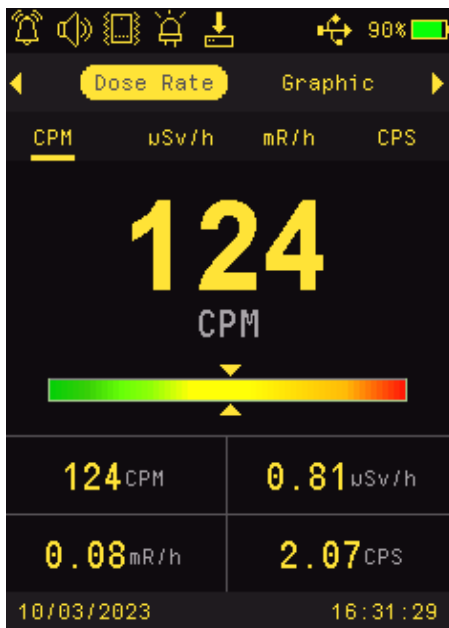


ナビゲーションキー

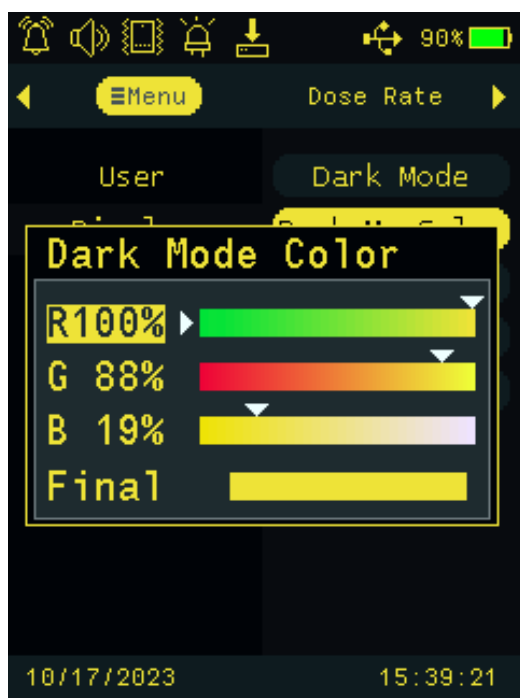
Key1:戻る Key2:オン/オフを選択 Key3:オン/オフを選択

デフォルトの設定ではライトモードになっています。ダークモードをオンにすると、すべての画面がダークモードに切り替わります。

ダークモードの画面



ダークモードカラー



ダークモードをオンにすると、フォントやグラフィックのカラーを自由に設定できるようになります。

ダークモードをオンにした後、サブメニューリストに表示されるダークモードカラーを選択し、Key4を押すと、ダークモードカラー設定画面に移動します。

R(赤)、G(緑)、B(青)の値を変更することで、合計65.5K色からお好みのカラーを設定できます。

カラーの値は、カラーバー内の三角形を選択し、Key2およびKey3で値を変更して調整できます。

バックライト



バックライトでは液晶画面の明るさを設定できます。



ナビゲーションキー

Key1: 戻る/終了 Key2: 値を増やす

Key3: 値を減らす

省電力モード

省電力モードがオンになっている場合、30秒間キーを押さなかった場合に自動で液晶画面が暗くなり、消費電力を抑えます。



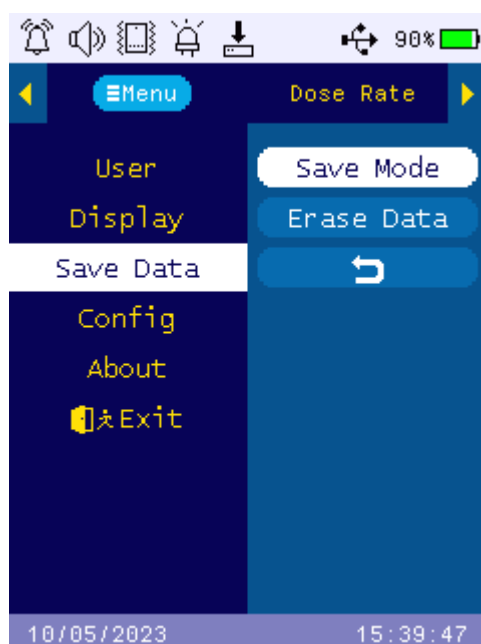
ナビゲーションキー

Key1: 戻る/終了

Key2: オン/オフを選択

Key3: オン/オフを選択

データ保存



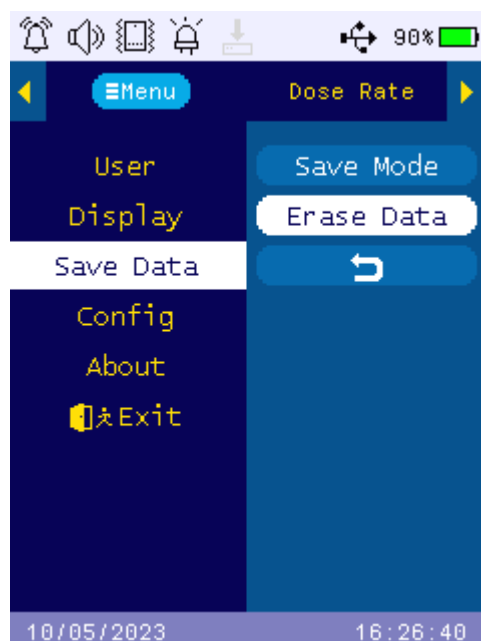
データ保存では、データの保存頻度を設定できます。

データの保存頻度は、毎秒、毎分、毎時から選択できます。

データ保存機能をオフにすることもできます。

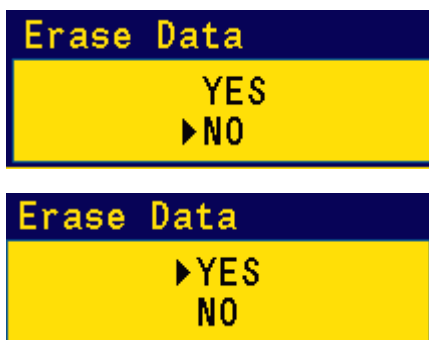


データ消去



データ消去では、フラッシュメモリ内のすべての履歴データ

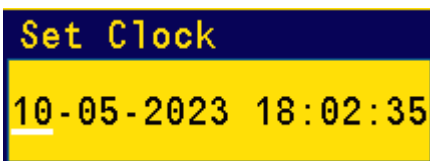
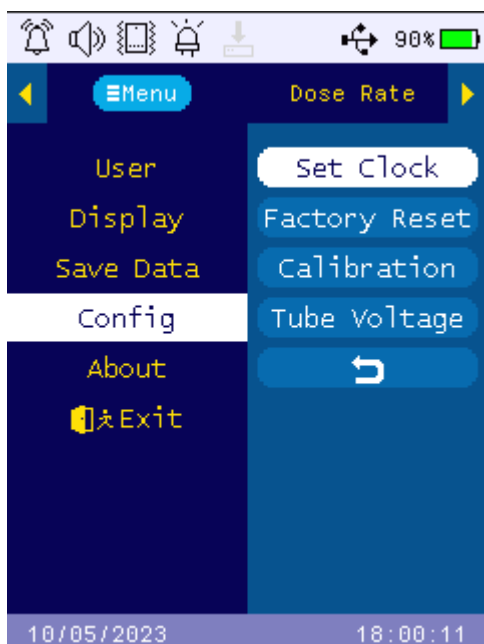
を完全に削除します。一度削除したデータは復元することはできませんのでご注意ください。



データを削除する場合は「YES」を選択し、Key4を押して決定します。



時計の設定



ナビゲーションキー

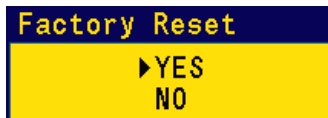
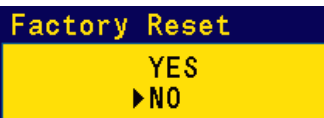
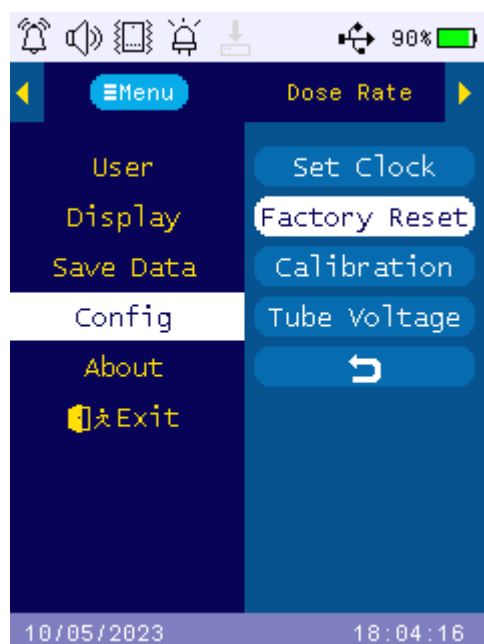
Key1:戻る

Key2:カーソル位置の値を変更

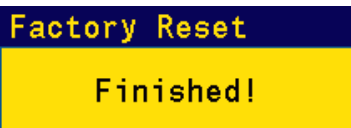
Key3:カーソル位置の値を変更

Key4:決定して次の桁にカーソルを移動

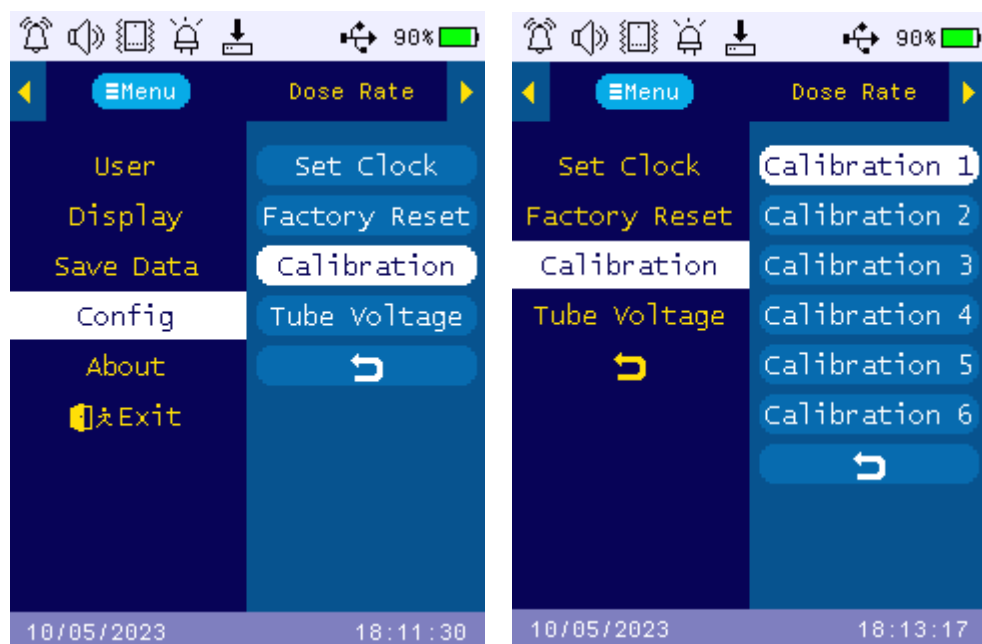
工場出荷時設定にリセット



リセットする場合は「YES」を選択し、Key4を押して決定します。



キャリブレーション



このメニューは主に、専門的なキャリブレーション向けです。必要に応じて値を変更することができます。Key4を押すと、各キャリブレーションの設定画面に移動します。

Calibration 1	Calibration 2
CPM 001538	CPM 015380
uSv/h 0010.00	uSv/h 0100.00
mR/h 001.000	mR/h 010.000

Calibration 3	Calibration 4
CPM 030760	CPM 076900
uSv/h 0200.00	uSv/h 0500.00
mR/h 020.000	mR/h 050.000

Calibration 5	Calibration 6
CPM 153800	CPM 307600
uSv/h 1000.00	uSv/h 2000.00
mR/h 100.000	mR/h 200.000

ナビゲーションキー

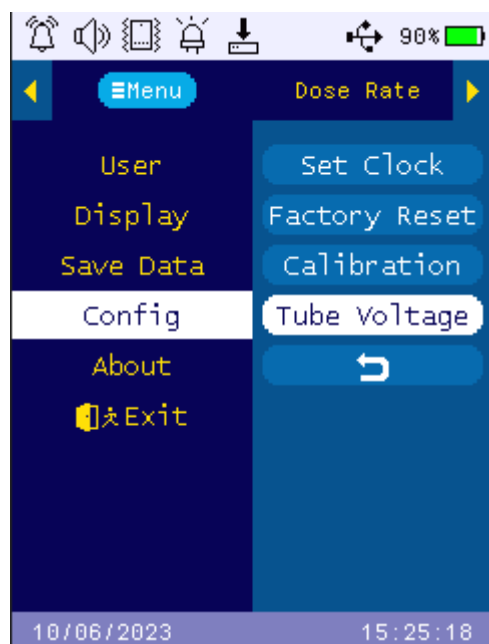
Key1: 戻る

Key2: カーソル位置の値を変更

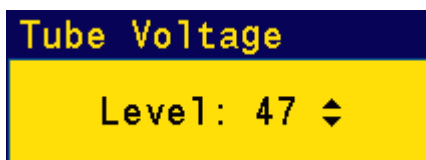
Key3: カーソル位置の値を変更

Key4: 決定して次の桁にカーソルを移動

管電圧

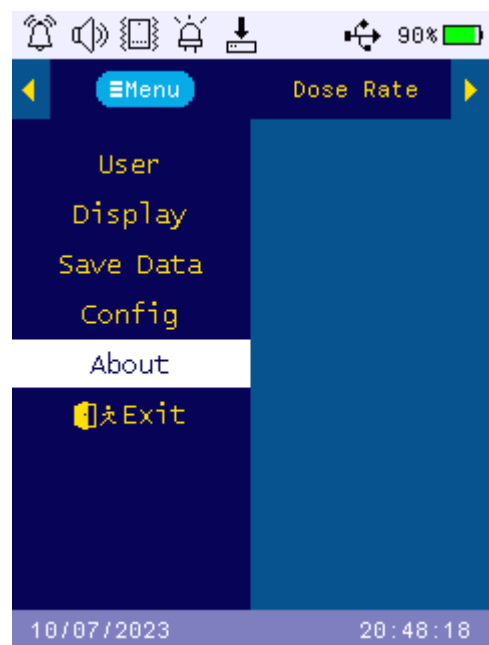


このメニューは、専門的なキャリブレーションのためのものです。変更する場合は必ず専門家の指示に従って行ってください。

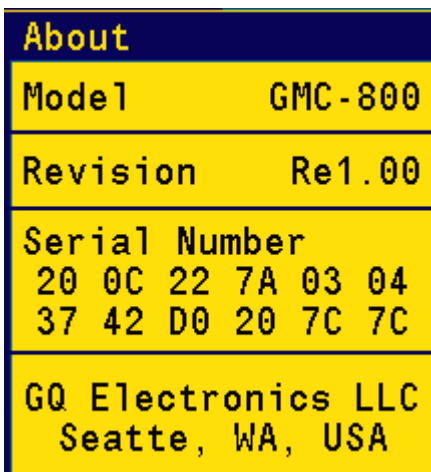


Key2およびKey3で値を変更できます。

About



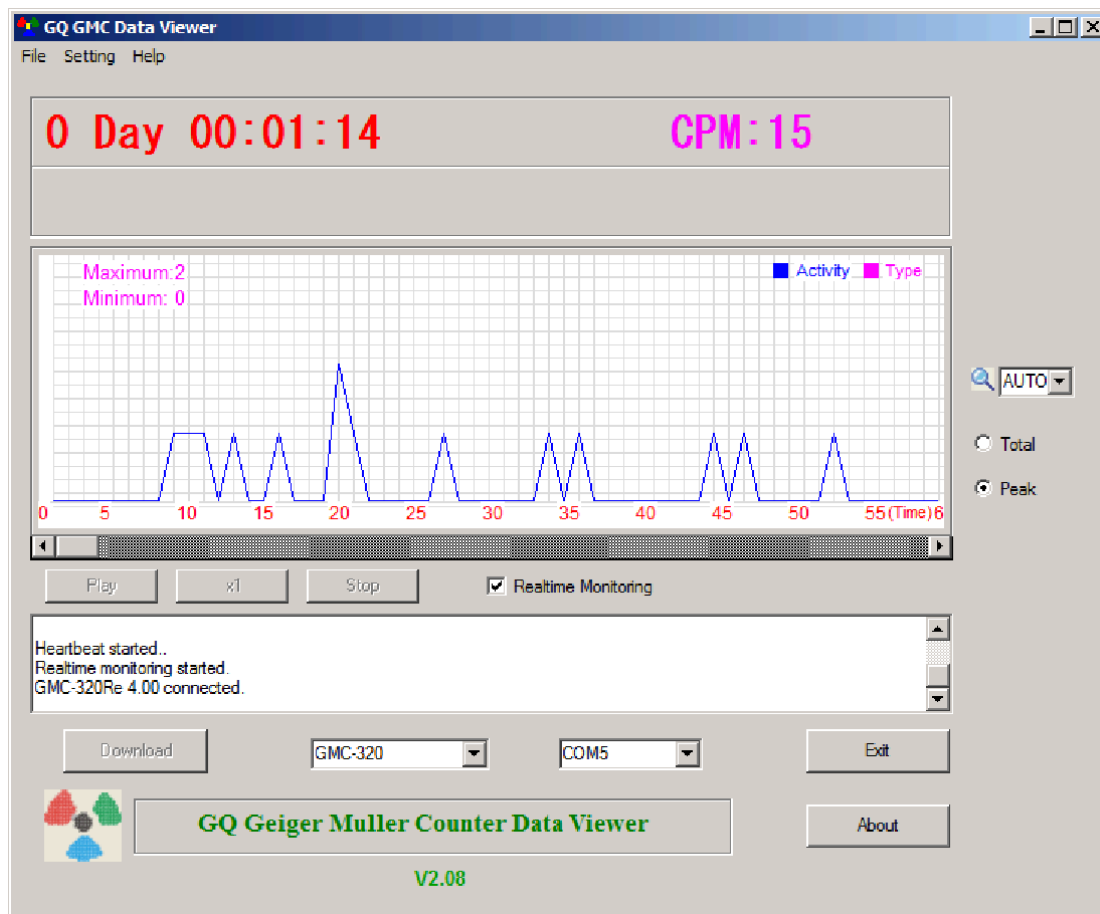
Aboutでは、本製品のシステム情報を確認できます。



GQ GMCデータビューアーソフトウェア

GQ GMCデータビューアーは、本製品の履歴データを保存・閲覧できる、無料のソフトウェアです。

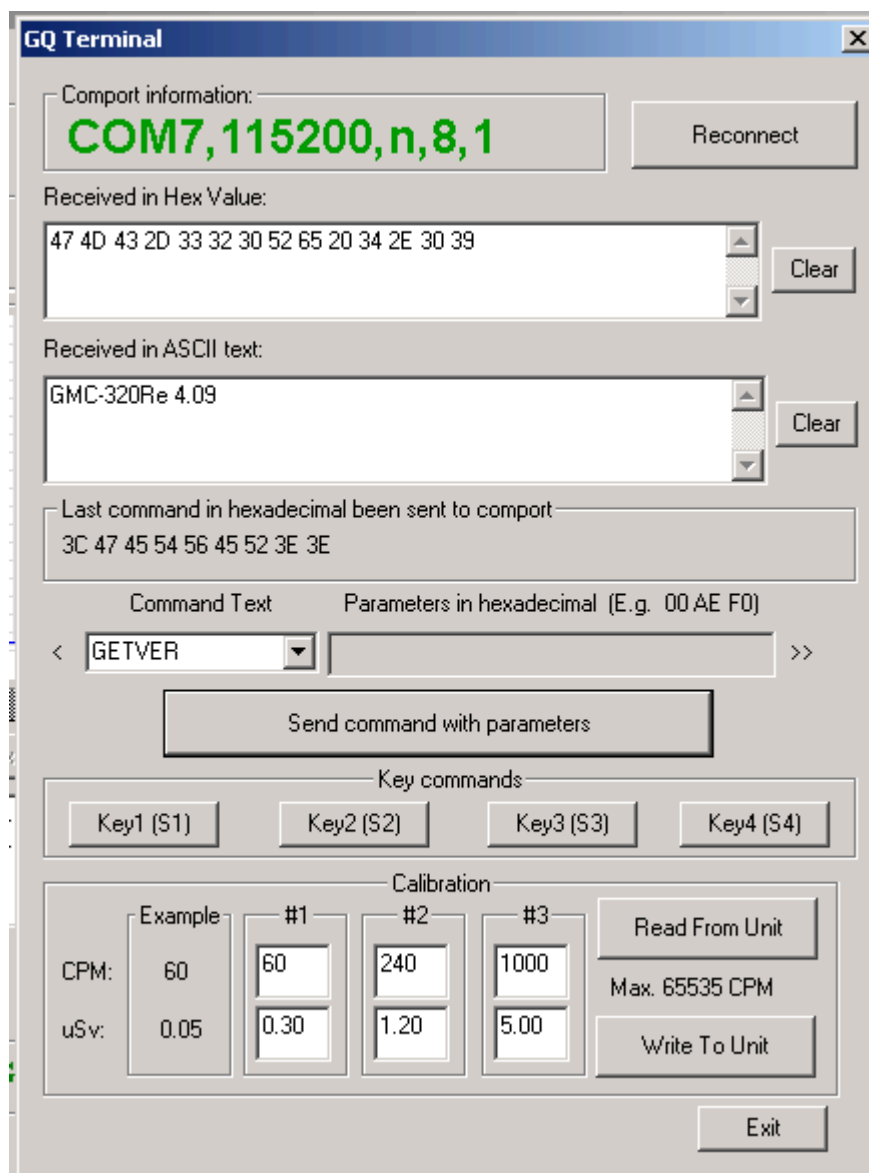
GQのウェブサイトのダウンロードページからダウンロードできます。



主な機能

- GMC-800からの履歴データのダウンロード
- 画像付きのリアルタイムモニタリング (GMC-800と接続している場合)
- 履歴データを.binまたは.csv MS Excel形式で保存
- コンピューターの日付/時刻とGMC-800のデータ/時刻との同期
- GQターミナルは詳細な通信プロトコルのインターフェースとして機能します

GQターミナル



GQターミナルは、GMC-800通信プロトコルへの即時アクセスインターフェースとして機能します。以下のコマンドは、クリックで送信できます。リストにないコマンドについては、ソフトウェアのコマンドボックスに入力できます。

GETVER、GETSERIAL、GETCPM、KEY0、Key1、Key2、Key3、SPEAKER0、SPEAKER1、ALARM0、ALARM1、GETVOLT、GETGYRO、GETCFG、GETCPS、HEARTBEAT0、HEARTBEAT1、GETDATETIME、CFGUPDATE、POWEROFF、POWERON、SETDATETIME、FACTORYRESET

詳細な通信プロトコルコマンドについては、下記URLを参照してください：

<http://www.ggelectronicssl.com/downloads/download.asp?DownloadID=62>

オプションのソフトウェアに、GQ GMCデータロガープロがあります。これは、異なるブランドやモデルの放射線測定器向けの汎用ソフトウェアです。より専門的なユーザー向けの機能が備わっています。

デモ版のダウンロードページをご覧ください。

オンライン放射線測定器ワールドマップ



www.GMCmap.com

放射線測定器ワールドマップは、どなたでも無料で使用できるオープンなマップです。すべての放射線測定器ユーザーは、無料でデータストレージ領域を利用できます。

ユーザーは異なる場所に複数の放射線測定器を登録することができ、登録したすべての放射線測定器で、無料の履歴データ保存領域が利用できます。ユーザーはいつでもどこでも履歴データを取得できるほか、自分の履歴データを他のユーザーに公開することもできます。

ソフトウェア

GMCmapは、ソフトウェアが自動的に送信したデータを受け入れます。

GQ GMCデータビューアソフトウェアは、自動データ送信に適したテスト済みの無料ソフトウェアです。GQ Electronics LLCのダウンロードページからダウンロードしてご利用ください。

自動送信データプロトコル

自動送信データを使用するには、GMCmap.comに登録が必要です。これにより、有効なユーザーアカウントIDと放射線測定器IDを取得できます。ユーザーは、異なる場所に複数の放射線測定器を登録できます。

自動送信データのURL形式：

<http://www.GMCmap.com/log.asp?id=UserAccountID+GeigerCounterID+CPM+ACPM+uSV>

少なくとも1つの読み取りデータを送信する必要があります。

ここで

1. UserAccountID: ユーザー登録が完了すると割り当てられるユーザーID
2. GeigerCounterID: 登録された各放射線測定器の識別ID
3. CPM: この放射線測定器からの1分あたりのカウント
4. ACPM: この放射線測定器からの1分あたりの平均カウント(オプション)
5. uSv: この放射線測定器からのuSv/h(オプション)

送信の結果はすぐにわかります。

以下は、返された結果の例です：

1. OK。
2. エラー！ユーザーが見つかりません。
3. エラー！放射線測定器が見つかりません。
4. 警告！放射線測定器の場所が変わりました。場所を確認してください。

場所変更の警告を受け取った場合、ユーザーはその放射線測定器のプロフィールから場所を確認するか、アカウントから別の放射線測定器を作成する必要があります。この場合、2つの場所で1つの放射線測定器を共有することができます。

アプリケーション

固定アプリケーション

本製品は、放射線の固定監視や長期監視のために、あらゆる場所に設置できます。標準のアダプターを使用して壁のコンセントなどから充電することで、データを連続的に24時間365日モニタリングすることができます。

その他の重要な技術的詳細

USBポート

Type-CのUSBポートがついています。データ通信、外部電源、バッテリー充電器接続に使用できます。

データ収集時間

GMC-800の放射線データは連続的に収集され、毎秒測定されたデータがCPUに送信されて処理されます。

バッテリーの動作時間を延長する

バッテリーの動作時間を延長するには、省電力モードをオンにします。スピーカーが不要であればオフにします。最大まで充電したバッテリーが3時間未満で消耗するようになった場合は、バッテリーを交換する必要があります。標準の14500(14 x 50.0 mm)3.6V-3.7V Liバッテリーまたは14500(14 x 50.0 mm)3.6V-3.7V充電式Liイオンバッテリーを使用します。

GMC-800は、非充電式バッテリーが装着されている場合でも正常に動作します。メニューから非充電式バッテリーのバッテリータイプを選択してください。

サードパーティーのソフトウェア開発者

GMC-800はオープンプロトコル製品です。ユーザーは、公開されたGQ-RFC1201プロトコルに基づいて独自のソフトウェアを開発することが推奨されています。一般的なソフトウェアを他のユーザーと共有することをお勧めします。ご質問がある場合は、support@ggelectronicllc.comにお問い合わせください。

GQ-RFC1201プロトコルは、ソフトウェアのダウンロードページで入手できます。

<http://www.ggelectronicllc.com/comersus/store/download.asp>